

概要

バスの利便性の向上による利用促進及び移動の円滑化を図り、もって快適な生活及び住環境の確保に資することを目的とする。ICカード乗車券との一体的整備による定時性・速達性の向上等、交通システムを整備しバスの利用環境改善を図る

旭川市生活交通ネットワーク計画の目標

バス運行の定時性・速達性を向上することにより、バス利用者数を増加させ、もってマイカーからの利用転換による二酸化炭素排出量の削減に効果がある。電子マネー化により、小銭の出し入れが無くスムーズな乗降が可能となる。

全乗降データが取れる事により、需要に合わせた効率的な運行計画が作成することができる。現金支払い者を全体の60%・ICカードによる乗降を40%まで引き上げ、8万人にバスカードを配布する事を目標とする。

平成24年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

■現在ほとんどの都市とバス会社でIC化が進んでいる中で、旭川電気軌道は、独自の磁気カードを平成3年から使用してきた。機器の老朽化と部品の製造中止により使用不能となり、平成24年3月末をもって終了しなければならなくなった。このままでは、現金と回数券のみの使用となり、環境問題の観点からも紙の回数券も廃止したく、ICカード化を急いでいた。

地域公共交通の現況

○旭川電気軌道(株)
上川地域管内(旭川市、東川町、東神楽町)69系統

旭川市地域公共交通会議開催状況

平成24年2月28日(第1回)開催、事業内容(計画)について協議し合意

平成24年度事業概要

ICカードシステム導入

2) 導入機器



3)導入実績

- ・ICカード車載器 169台
- ・金庫 169個
- ・サーマル整理建機 169台
- ・IC精算ロリーダー 169台
- ・IC乗車ロリーダー 169台
- ・液晶運賃表示機 53台
- ・集中操作盤 53個
- ・運賃表示器改造 116台
- ・自動販売機(新規購入・チャージ・定期更新) 3台
- ・窓口処理機 4台
- ・金庫解錠装置 2台
- ・簡易解錠装置 4台
- ・ICカード発行枚数(2月末現在) 17823枚

4)事業実施の適切性

計画どおり事業は適切に実施された。

5)目標・効果達成状況

利用比率(人数)の目標は、現金利用者48.3%・ICカード利用者45.1%まで引き上げ達成した。しかしバスカード配布枚数は、18千人弱と目標には及ばなかった。

乗降データが取れており、このデータ蓄積により運行本数の見直しや、需要に合わせた効率的な運行計画が作成することができるようになった。

6)事業の今後の改善点

他の交通機関との連携や道北バスとの共通利用が出来るよう今後も情報交換を実施。

お客様の利便性向上や、スムーズな乗降・安全性の向上の為、適所に自動販売機の導入を継続して行く必要がある。

7)地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)